

(18) 弓 道
令和7年度第60回群馬県高等学校総合体育大会弓道競技会
兼 第69回関東高等学校弓道大会県予選会

- 1 開催日 令和7年5月 9日(金) 女子団体戦予選決勝・女子個人戦予選決勝
5月10日(土) 男子団体戦予選決勝・男子個人戦予選決勝
- 2 日程 監督会議(各校顧問) …近的射場 8:00～
出場校受付(顧問のみ) …小会議室 監督会議終了後
開会式(代表選手1名) …近的射場 監督会議終了後
*係職員と当番校生徒は開場の準備が整い次第入場し、会場準備にあたる。(7時45分～入場予定)
*選手は8時00分以降当番校生徒入場後に入場できる。(靴袋を各自で持参する)
*当番の仕事内容は、本専門部顧問必携を参照する。
- 3 会場 A L S O Kぐんま武道館弓道場 前橋市関根町800番地 電話027-234-1200
- 4 競技種目 近的競技 的中制 直径36cm霰的
- 5 競技種別 男子の部・女子の部
- 6 競技種類 団体戦…男女とも各校1チーム(1チーム6名以内…正選手5名・補欠1名)
個人戦…男女とも39名以内(団体戦出場選手は団体戦の的中を個人戦の的中とする)
- 7 競技規則 全国高等学校体育連盟弓道競技規則・競技運営細則による。
- 8 競技方法 射場区分
: 団体戦
予選・決勝 …5人立 3射場 立射
: 個人戦
予選・決勝 …3人立 5射場 立射
*競技種類ごとに、仕切棒の位置を移動する。
競技内容
: 団体戦
予選 …1チーム40射(各自8射)を行い、男女とも上位8位チームを通過とする。
8番目のチームが複数ある場合には、当該チームのすべてを決勝進出とする。
決勝 …1チーム20射(各自4射)を行い、予選の成績と合計して順位を決定する。
: 個人戦
予選 …各自4射を行い、2中以上を通過とする。
決勝 …各自4射を行い、予選の成績と合計して順位を決定する。
競技における注意事項
: 団体戦
*選手の交代は2回認め、第3控に入るまでに所定の用紙に記入して、監督が本部に届け出る。
○一度受け付けた交代を取り消すことはできない。
○交代した選手は一度試合に出場しないと交代できない。(競射のみの交代はできない)
○個人戦予選に出場した選手は、団体戦予選1回戦に出場することはできない。
○個人戦決勝に出場した選手は、団体戦予選2回戦に出場することはできない。
*時間制限をおこなう。
○6分30秒で予鈴、7分で本鈴の合図をし、本鈴と同時に発射は無効とする。
○時間制限により無効となった矢は、団体戦の的中を個人戦の的中とするため個人戦の的中も無効とする。
○団体合同チームの計時は参考とするが、著しく遅い場合は本部より顧問を通して注意する。
: 個人戦
*代表権のかかる順位決定は射詰めとする。それ以外は遠近(多人数の場合は複数の使用)で順位を決める。
*個人戦の射詰競射は4射的中が続いても結果が出ない場合は、八寸的(星的)を使用する。
- 9 競技順序 ①個人戦予選(個人のみ、補欠、の順に行う)
②団体戦予選1回戦(2名以内のチームは団体戦の最後に合同チームで引く)
③個人戦決勝(個人のみ、補欠、の順に行う)
④団体戦予選2回戦(2名以内のチームは団体戦の最後に合同チームで引く)
⑤個人戦代表権決定射詰競射
⑥個人戦代表権決定以外の順位決定遠近競射
⑦団体戦決勝
⑧団体戦順位決定競射
⑨閉会式・表彰式
⑩団体戦・個人戦の代表校監督会議

- 10 引率監督 団体戦の引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。（公立学校にあっては教員とする。）
個人戦の引率責任者は、校長の認める学校の職員とする。（公立学校にあっては教員とする。）
校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。
→「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、事前に県高体連会長に届け出る。
監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。
- 11 参加資格 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
令和7年度群馬県高体連弓道専門部に登録した生徒であること。
年齢は平成18（2006）年4月2日以降に生まれた者とする。
出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
チーム編成は、全日制、定時制、通信制の生徒による混成は認めない。統廃合対象学校は合同チームを認める。
転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない。但し、一家転住の場合は、特例として参加を認める。
参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、当該校長の承認を必要とする。
- 12 表彰 男女ともに
団体戦 1位 一賞状・楯・優勝楯（持ち回り）
2位～3位-賞状・楯
4位～8位-賞状
個人戦 1位 一賞状・メダル・優勝楯（持ち回り）
2位～5位-賞状・メダル
*昨年度総体団体戦優勝校 「男・市前橋」「女・育英」は優勝楯を開会式で返還する。
*昨年度総体個人戦優勝校 「男・前商」「女・前南」は優勝楯を開会式で返還する。
- 13 代表権 男女ともに
団体戦 1位～3位のチームに代表権が与えられ、辞退があった場合は次の順位に繰り下げる。
個人戦 1位～5位の選手に代表権が与えられ、辞退があった場合は次の順位に繰り下げる。
*団体戦代表権を獲得したチーム内に個人戦代表権獲得者がいた場合も、個人戦代表権を認める。
*令和7年度第69回関東高等学校弓道大会 於・山梨県甲府市
令和7年6月7日（土）～6月8日（日）〔6月6日（金）は開会式〕
- 14 申込方法 申込ファイルに入力の上、4月17日（木）16：00（期限厳守）必着で下記宛にメールする。
申込先 高体連弓道専門部 MAIL gunkyumi@yahoo.co.jp
- 15 プロ編成 4月22日（火）9：30より市立太田高校にて委員長・副委員長・常任委員により実施する。
- 16 注意事項 ①プログラムに記載された番号のゼッケンを右腰に付けること。
②引率責任者不在の場合は選手の参加は認めない。
③顧問の昼食については、各自で準備する。
④弓具には記名しておくことが望ましい。（忘れ物があった時は忘れ物コーナーに置いておく）
⑤髑の紐は小さく結ぶ。妻手の留め具や紐幅が広い押手髑、小指付根押手髑、ゴム底足袋の使用は禁止する。
⑥追い越し発射は追い越した矢を無効とする。
⑦進行の「起立・始め」の号令は矢取り終了後にかける。
（制限時間がない個人戦、計時が参考となる団体戦は最後の射手が足踏みを閉じたら号令をかける）
⑧介添えは監督または各校生徒とし、替矢・替弦は介添えが持って入場する。
弦切れの場合は介添えが弦を張る。弦が張れない場合は進行に申し出る。
競射で替矢を使用する際は、介添えが矢を選手の正面から渡す。渡す際に指示・激励に類する行為はしない。
的中の異議申し立ては矢取り開始前に介添えが行う。
介添えが付けられない場合、選手は替矢・替弦を招集係に渡す。
⑨服装等については顧問総会の取り決めに従うものとする。
⑩控や控室、矢取や看的待機場所での私語はしない。
⑪貴重品の管理は各自で行うこと。
⑫会場での飲食等ででたゴミは必ず持ち帰ること。
⑬大会当番は準備・仕事・片付けを行い、片付け終了後は大会委員長または大会副委員長に報告をする。
◎大会申込書の提出で、校名・学年・氏名の個人情報取り扱いについて、承諾を得たものとする。
プログラム・事務連絡文書への記載、プログラム・結果のWebページ掲載に使用する。
※プログラムをWeb公開する場合にはパスワードを設定し関係者以外は見られないようにする。